

令和3年9月吉日

熊本西稜ロータリークラブ

会長 三船 恵子 様

熱海南ロータリークラブ

会長 吉田耕之助

お見舞と義援金の御礼

拝啓 暑かった夏もいつしか遠ざかり、朝晩は凌ぎやすくなりました。
貴クラブ 皆様におかれましては、ご健勝のことと存じ上げます。

先日は、荒木様より温かいお見舞いのお電話を頂き 又、今回は、
熱海土石流災害へと 貴クラブ様からの義援金を頂戴いたしまして、
誠に有難うございました。

会員一同、熱海市民の一員と致しまして心よりお礼を申し上げます。
ロータリーの輪(和)は 想像以上の広がりとお感じいただいております。

災害発生の7月3日から、早や2か月が経とうとしております。
2次災害に苦慮しながら 連日 行方不明の方、あと1名の捜索が過酷
な条件の中、続けられております。

被災された方々は、避難しているホテルから、徐々に 空いている
県営や市営住宅、または、民間へと入居され始めております。

今般、クラブ会員の一人が自宅の全壊を被りましたが、本人は建設
土木業ですので、発生場所において、当初より、陣頭指揮を執り頑張
っております。

今回頂戴いたしました義援金は、当クラブで 一時 お預かりの上
後日、改めまして、皆様にご報告をさせていただきます。

末筆ながら、貴クラブ様のご繁栄をお祈り申し上げまして、
お礼の挨拶に変えさせていただきます。

敬具